

2021年3月期 第2四半期 決算短信補足説明資料

 プロパティ データバンク株式会社
Property Data Bank, Inc.

2020年10月30日
証券コード 4389
(2020年4月～2020年9月)

1

会社概要

2

2021年3月期第2四半期決算概要



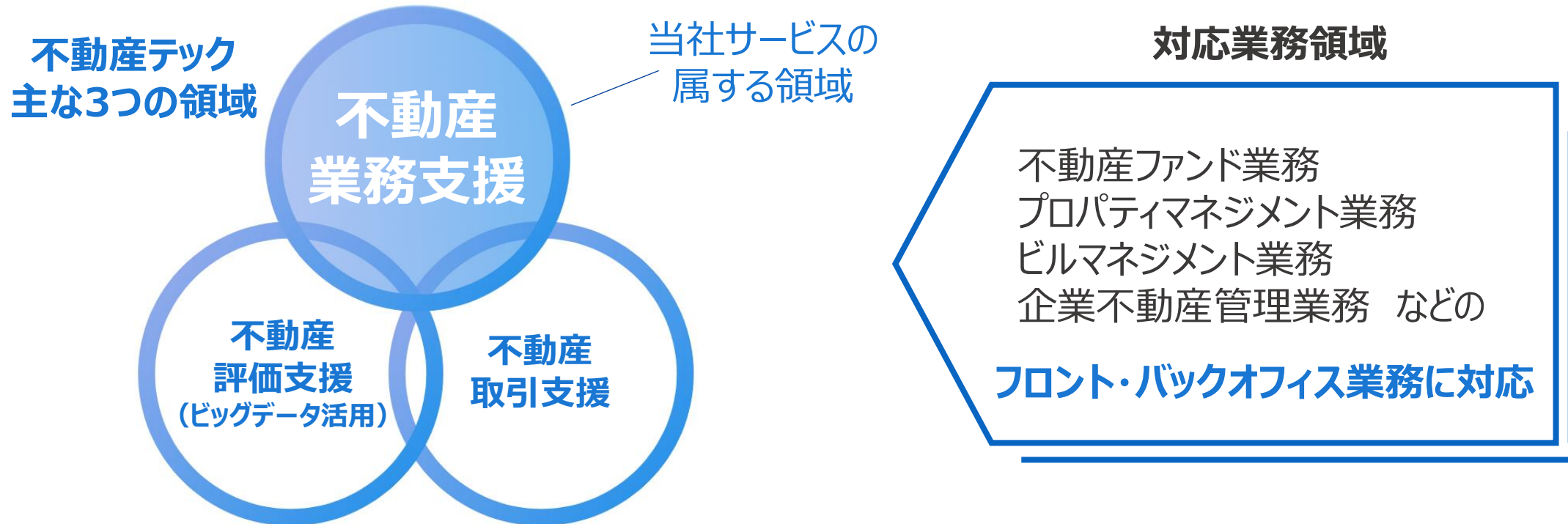
1

会社概要

Real Estate Technology Real Estate Tech

不動産 × テクノロジー = 不動産テック

当社は不動産に関する様々な業務を効率化する「BtoBの不動産テック企業」



SaaS(パブリッククラウド)で最先端のソフトウェアを提供
不動産・施設等の資産管理に関する業務の効率化を支援



土地建物情報管理

動不動産管理

賃貸借契約管理

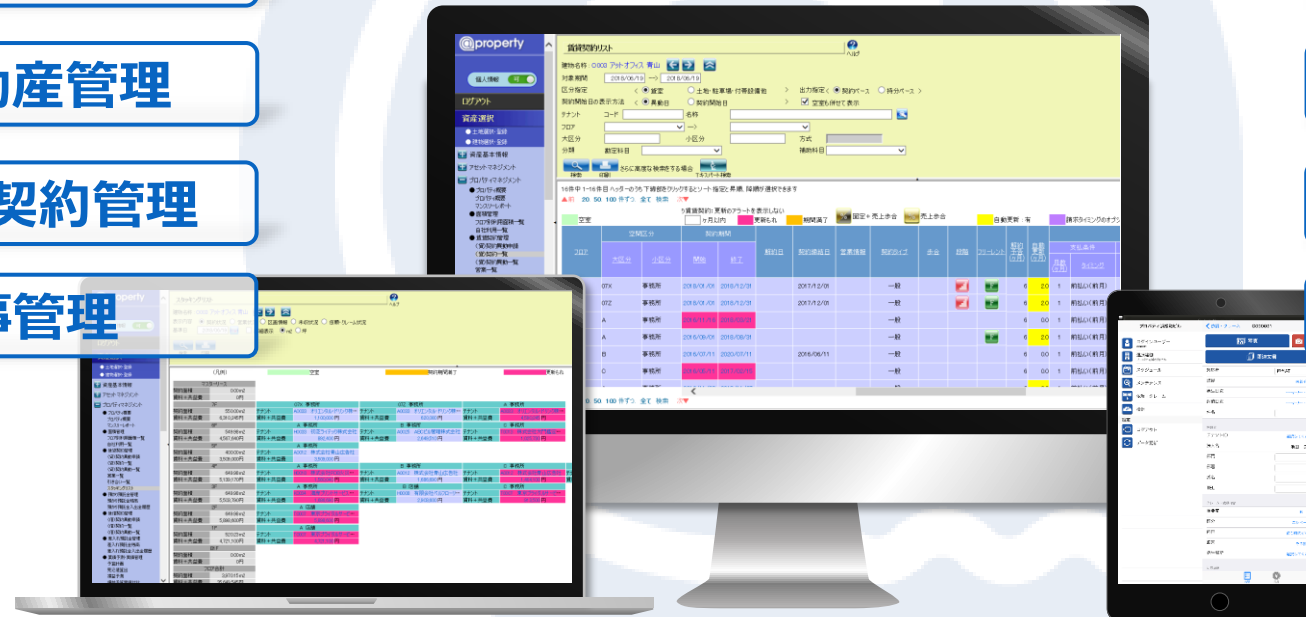
工事管理

不動産会計

請求・入金(債権管理)

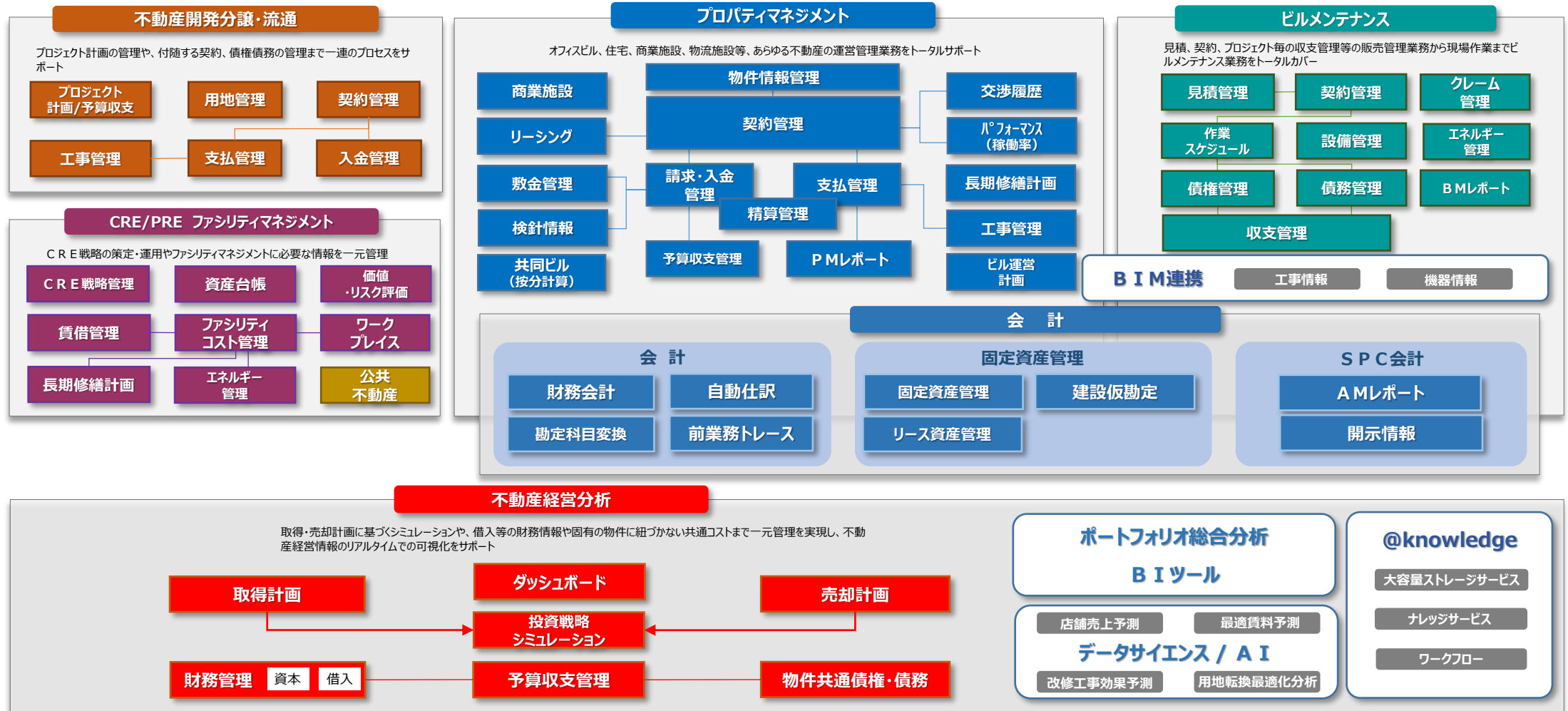
業務受委託管理

経営分析



※ パブリッククラウドとは、多種多様な企業や組織が共有するサービスのこと

あらゆる不動産業務に応じた機能が充実



データセンター
3拠点同時稼働

24時間有人監視

IP接続制限

@property SaaS基盤

システム冗長化

侵入検知システム

VPN接続

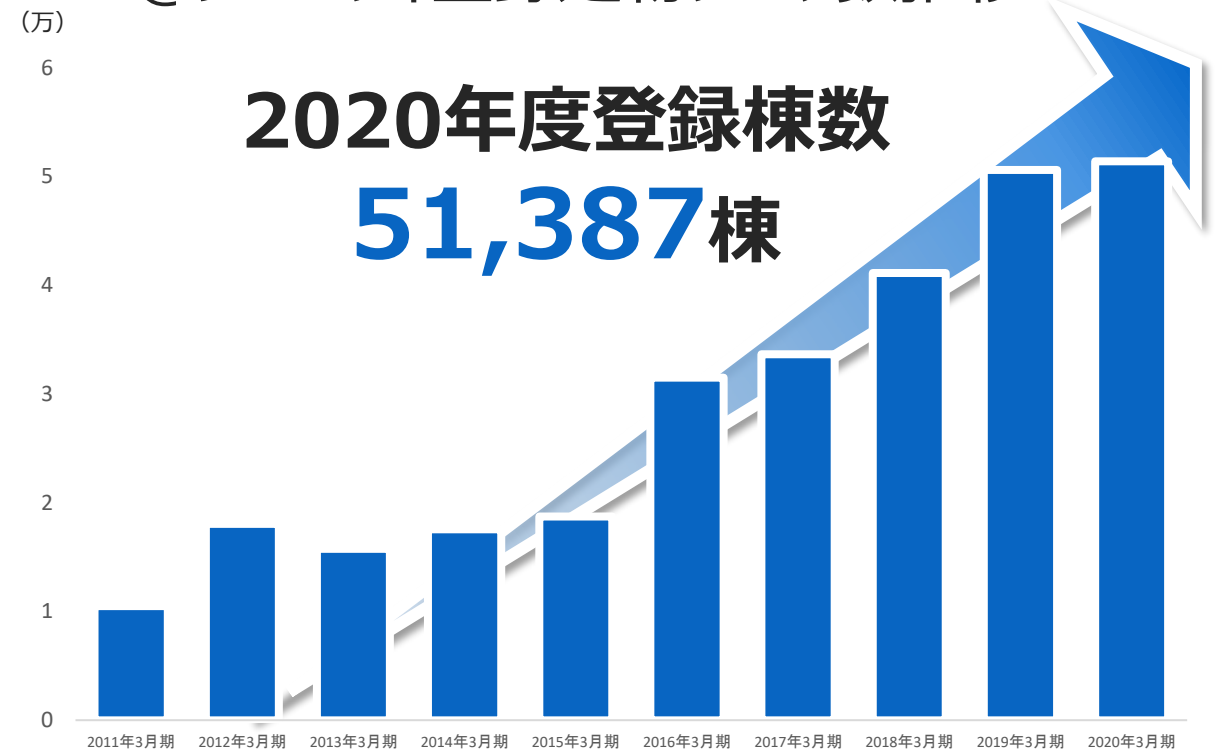
契約社数280社突破

導入実績

- ・J-REIT
- ・不動産会社
- ・不動産管理会社
- ・不動産ファンド
- ・デベロッパー
- ・生命保険会社
- ・電鉄会社
- ・電力会社 など

登録建物データ5万棟突破

@プロパティ登録建物データ数推移





2

2021年3月期 第2四半期決算概要

前年同期比 増収増益

売上高、段階利益ともに当初計画通りに推移

- ・当社顧客の多くが関わる不動産売買及び賃貸市場について、一部セグメントにコロナ禍の影響が及んでいるものの、不動産管理の需要自体は依然堅調に推移
- ・新型コロナウイルス感染症拡大が当社事業に与える影響については引き続き注視していく必要はあるが、「システムコストの大幅削減」、「テレワークとの高い親和性」等コロナ禍における当社クラウドサービスへの評価は以前より高まっていること、売上高の多くを安定的なクラウドサービス利用料に依拠していること等を勘案、現時点において当社業績および会計上の見積もり等に与える影響は軽微と見込む

新たな取り組みが始動

- ・株式会社野村総合研究所と不動産投資顧問業務のDX推進に向けたサービスを共同で提供することに合意 REIT・ファンド分野における「@プロパティ」の地位を確固たるものにするため、第3四半期より本協業を開始
- ・東京オペラシティビル株式会社と共同で、3次元のモデリングソフトウェアを使用して設計・建設の生産性を向上させる BIM（ビルディング・インフォメーション・モデリング）と「@プロパティ」を連携させた新たな不動産情報プラットフォームを構築するプロジェクトが開始

損益計算書（前年同期比）

(単位：百万円)	2020年3月期 2Q	2021年3月期 2Q	増減額	増減率
	2019/4 - 2019/9	2020/4 - 2020/9		
売上高	896	1,024	128	14.4%
クラウドサービス	517	593	75	14.6%
ソリューションサービス	378	431	53	14.1%
売上総利益	398	481	82	20.7%
売上総利益率	44.5%	47.0%	-	-
販売費及び一般管理費	289	270	△19	△6.8%
営業利益	108	210	102	94.1%
営業利益率	12.1%	20.6%	-	-
経常利益	108	210	101	93.2%
四半期純利益	71	144	73	102.2%

※ 百万円未満切捨て

売上高は前年同期比+128百万円(14.4%増)

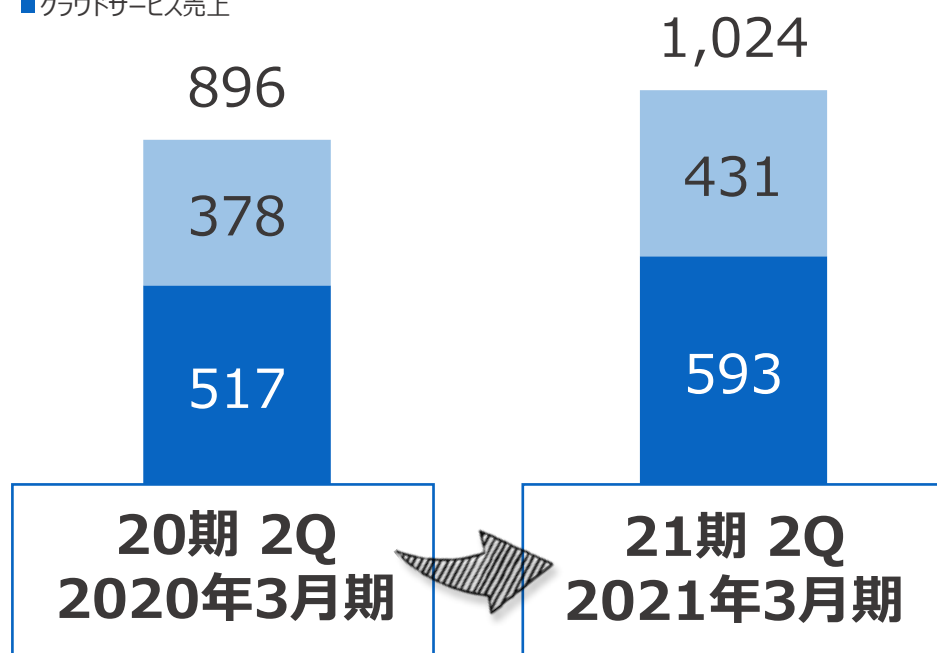
- ・クラウドサービス売上高は着実に増加 前年同期比+75百万円(14.6%増)
- ・ソリューションサービス売上高は前事業年度より継続して複数の大型案件のプロジェクト推進活動が順調に進捗し増加 前年同期比+53百万円(14.1%増)
- ・経常利益は前年同期比+101百万円(93.2%増)

売上高

(単位：百万円)

- ソリューションサービス売上
- クラウドサービス売上

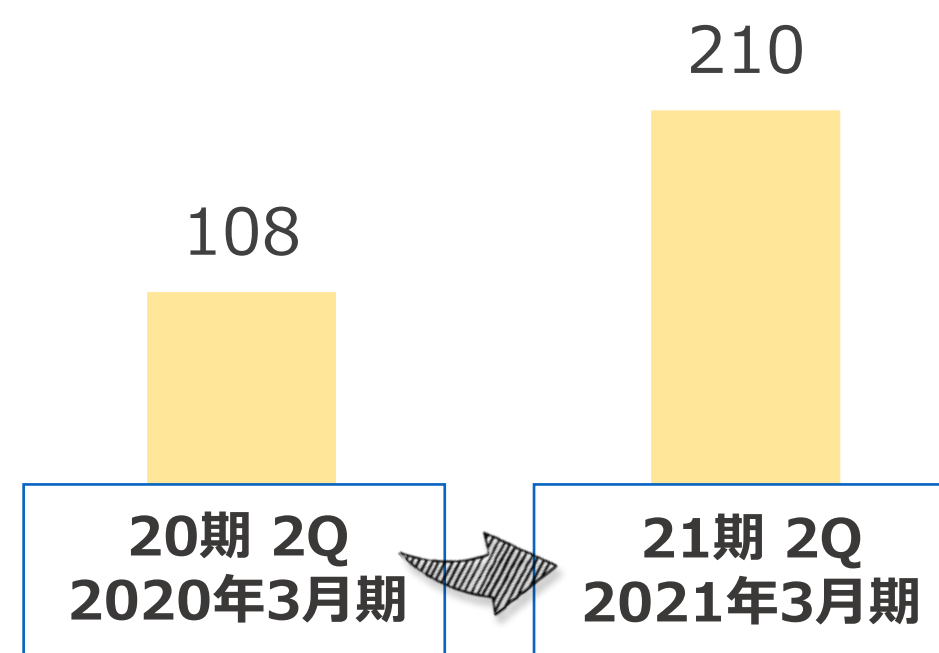
14.4%増



経常利益

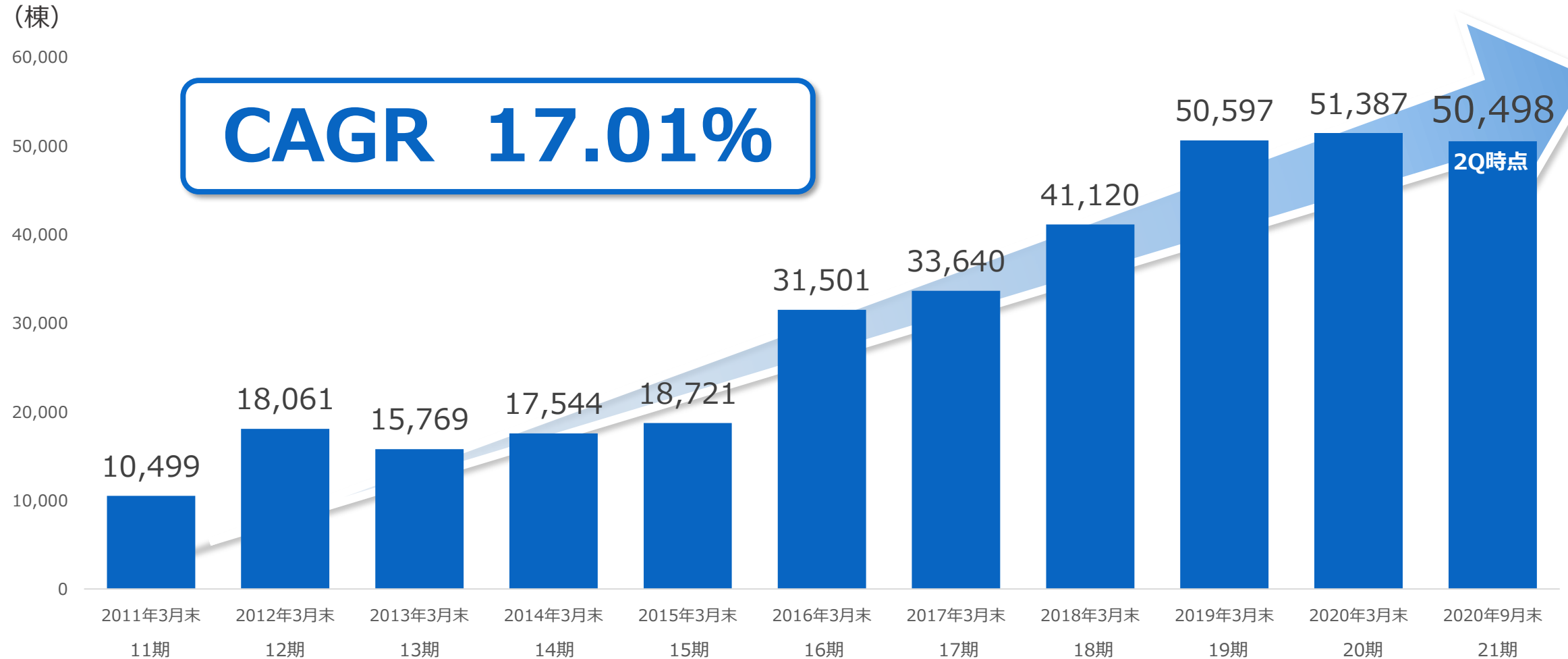
(単位：百万円)

93.2%増



※ 百万円未満切捨て

一部顧客の登録物件の整理等により、登録棟数は減少（前期末比889棟減）



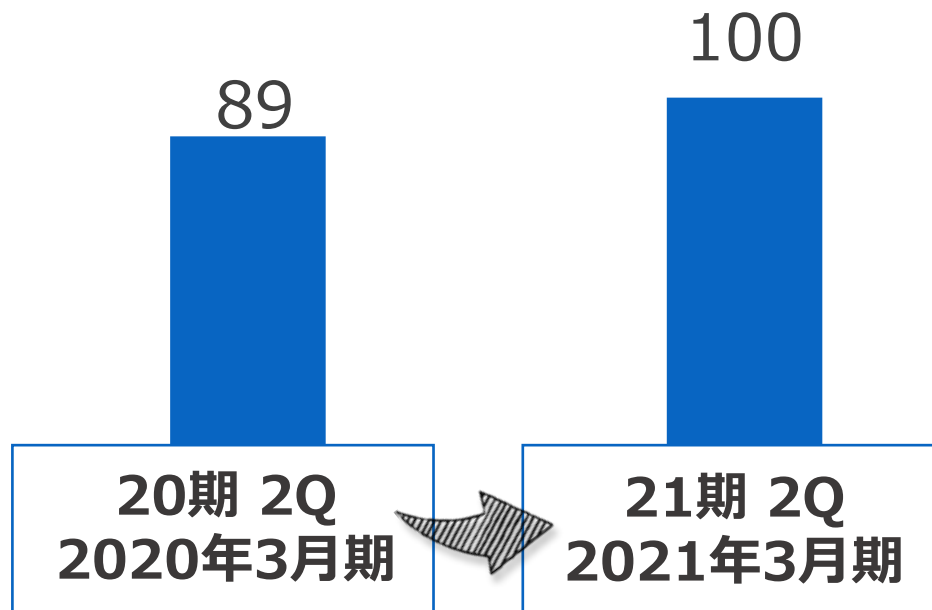
※ 官公庁自治体による登録棟数は含まない

クラウドサービス月額利用料は前年同期比+11百万円(13.0%増)
1社当たりの平均月額利用料単価は前年同期比+24千円(7.6%増)

クラウドサービス 月額利用料

(単位：百万円)
※ 百万円未満切捨て

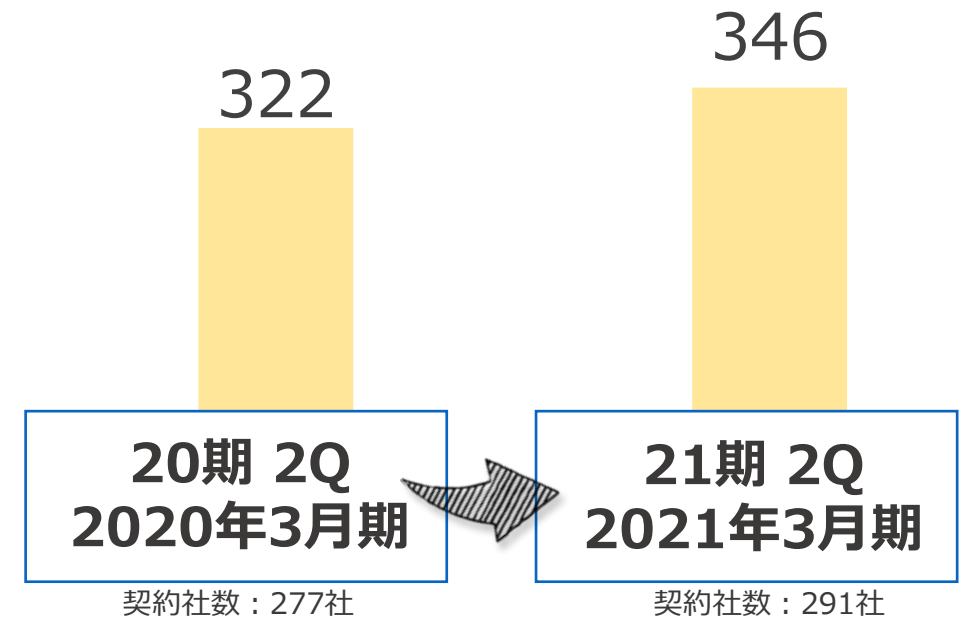
13.0%増



1社あたり 平均月額利用料単価

(単位：千円)
※ 千円未満切捨て

7.6%増



ソリューションサービス売上は前年同期比+53百万円(14.1%増)

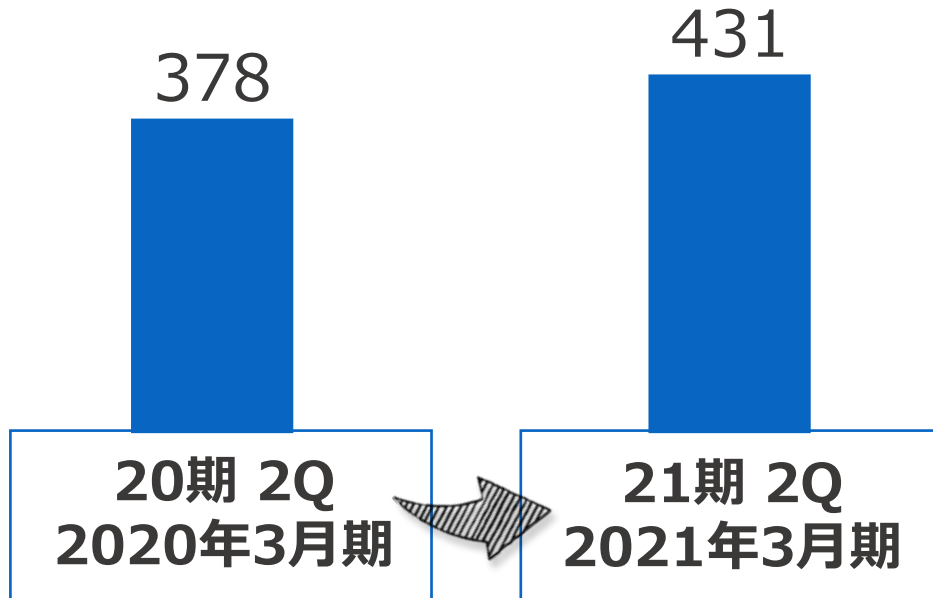
ソリューションサービス案件数は前年同期比+37件(57.8%増)

大手デベロッパー、総合ビル管理会社、不動産会社、電鉄会社、電力・ガス・電鉄グループ会社、大型複合施設、J-REIT、不動産ファンド、その他企業（製造業、運輸等）など分野は多様化が進む

ソリューションサービス 売上

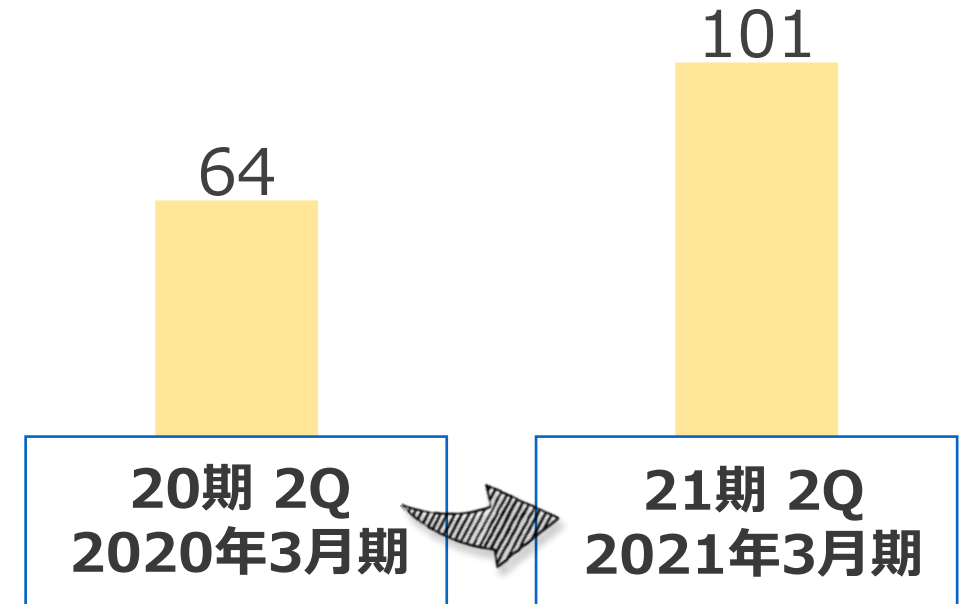
(単位：百万円)
※ 百万円未満切捨て

14.1%増



ソリューションサービス 案件数

57.8%増



自己資本比率は75.3%と安定した水準を維持

20期

2020年3月期（期末）

単位：百万円

流動資産 1,550	流動負債 353	純資産 1,894
	固定負債 216	
有形・無形固定資産 497		
その他の投資資産 416		

総資産 2,464

自己資本比率 76.9%



21期

2021年3月期（第2四半期）

単位：百万円

流動資産 1,554 現金・預金 + 220 売掛金 △223 前払費用 + 9	流動負債 417	純資産 1,901 自己株式 △92 利益剰余金 +95
	固定負債 205	
有形・無形固定資産 552		
その他の投資資産 418		

総資産 2,524

自己資本比率 75.3%

※ 百万円未満切捨て

(単位：百万円)	20期	21期
	2020年3月期 (第2四半期)	2021年3月期 (第2四半期)
現金及び現金同等物の期首残高	1,052	934
営業活動によるCF	△52	569
投資活動によるCF	△142	△193
財務活動によるCF	△74	△155
現金及び現金同等物の四半期末残高	782	1,155

主な内訳：

2021年3月期（第2四半期）

営業活動によるCF	売上債権の減少	223
	税引前四半期純利益	210
	減価償却費	114
投資活動によるCF	無形固定資産取得	△193
財務活動によるCF	自己株式の取得による支出	△100
	配当金の支払額	△48

※ 百万円未満切捨て



IR に関するお問合せ

IR担当 03-5777-3468

メール PDB_IRinquiries@propertydbk.com

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等様々な要因により、実際の業績は言及または記述されてる将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。